

安心・安全で効果的な浴場を提案します

浴槽循環配管洗浄剤

# GS-200

有効成分PHMB (ポリヘキサメチレンピグアナイド)と塩化ベンザルコニウムのダブル除菌パワーで安全・効果的な浴場衛生管理をご提供します。



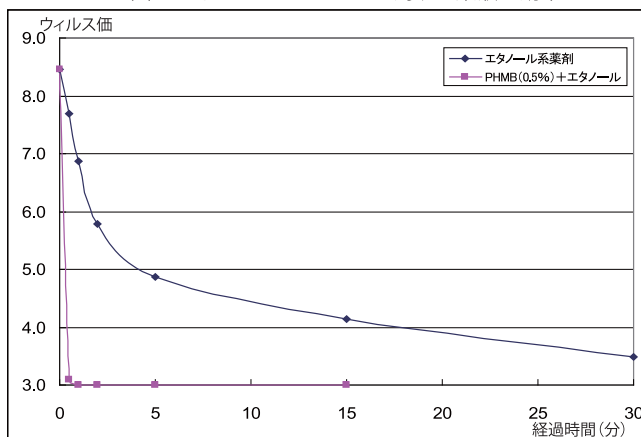
## 「GS-200」採用のメリット

- 配管、バルブなどの設備を傷めることがほとんどなく、濾材の耐久性を高めます。
- 濾過器の逆洗では除去しにくい、濾材細孔部の細菌類にまで効果を発揮します。
- 濾材表面及び配管内に保護膜を形成し、バイオフィルムを付着しにくくします。
- 残効性があり、洗浄した箇所の雑菌繁殖を防ぎます。
- 無臭で刺激性もなく、安全性の高い除菌剤です。
- 循環水量に対して、使用量が少なくて済むため、低コストでの運用が可能です。
- 排水への影響がほとんどなく、面倒な中和作業等が不要です。
- 年1~2回程度の定期配管清掃だけでなく、日常の衛生管理にも使えます。



## 除菌力データ

図1 ネコカリシウイルスに対する薬液の効果



消毒用エタノール系薬剤だけでは、30分経過してもウイルス類が0になっていませんが、GS-200の主成分PHMBを含んだ溶液は、約10秒間でウイルス類を0にしています。

表1 微生物に対するPHMBの最小発育阻止濃度

名称	PHMB ppm
バチルス属セレウス	33
黄色ブドウ球菌(MRSA)	6
腸内細菌	6
大腸菌	5
サルモネラ菌	33
セラチア菌	33
レジオネラ属菌	40~150

種々の微生物に対するPHMBの最小発育阻止濃度(M.I.C.)を示しました。各菌類に対応するPHMB濃度をもった製品です。



## 「GS-200」の使用方法

1. 「GS-200」を循環水量1トンあたり250～500cc(特にひどい汚れの場合は1,000～2,000cc)投入し、30～90分循環させます。循環させると泡が大量に発生しますが問題ありません。また循環中に泡が消えてしまう場合は、適宜「GS-200」を追加投入してください。
2. 循環洗浄後、排水して再度浴槽に水道水を貯めます。
3. すすぎのため、30分程度循環させます。
4. 泡がなくなるまで、適宜水を入れ替えて上記2～3を実施してください。

(注意)

「GS-200」投入後、汚れが濾材内部に閉塞し、循環水圧が上昇する場合がありますので、圧力が上昇しすぎた場合には、作業を一時中止し、適宜濾過器内の逆洗等を実施してください。(圧力が上昇し過ぎますと、故障や破損事故の原因になります。)

※日常の衛生管理でご利用になる場合は、「GS-200」を循環水量1トンあたり50～100cc投入してください。泡が気になる場合は、別売の消泡剤(KM-72F:食品添加物)を少量投入してください。消泡剤は分離しやすいため、使用時はよく振ってからお使いください。



GS-200は二オイイ刺激がほとんどなく、安全性が高いため、入浴時に投入して、配管・設備内を除菌することが可能です。



GS-200投入量、又は設備内の有機物質の量によっては、泡が発生しますが、気になる場合は、消泡剤を適宜投入して下さい。

### ■千葉県某所 浴槽水水質検査事例

項目	作業前	作業後
大腸菌群	300 個/ml	<b>不検出</b>
濁度	1度未満	1度未満
過マンガン酸カリウム消費量	5.0 mg/l	5.0 mg/l
レジオネラ	1500 CFU/100ml	<b>不検出</b>

(参考)レジオネラが「1500CFU/100ml」検出されていた浴槽水が、GS-200で清掃を実施したところ、レジオネラは「不検出」となりました。

水質検査結果報告書			
報告書No.	0120000	発行日	2008年6月25日
検査場所	千葉県千葉市緑区	検査項目	4項目
検査依頼者	株式会社 島田商店	試験機関	環境衛生検査センター
検査年月日	2008年6月17日	検査目的	浴槽水の水質検査
検査項目	大腸菌群	濁度	過マンガン酸カリウム消費量
単位	個/ml	度	mg/l
検査結果	不検出	5.0	5.0
基準値	100以下	5以下	20以下
検査方法	CFU/100ml	目視	目視
備考	以下空白		
検査方法	平成12年12月18日 厚生省生活衛生局第181号水質基準に関する省令による。		
判定	上記検査の結果、公衆浴場における水質基準に適合です。		
検査責任者	吉岡 優子		
備考			



## 取り扱い上の注意

- ・冷暗所に保管してください。
- ・皮膚や衣服に付着した場合には、よく洗い流してください。
- ・取り扱い時には、目や口に入らないように、適切な保護具を着用してください。
- ・目や口に入ってしまった場合は、清水で十分に洗浄し、医師の指示に従ってください。
- ・開封後は速やかに使用してください。また保存する場合には、キャップを確実に閉めてください。
- ・他の薬品や異物との混合、接触は避けてください。
- ・高濃度の塩素と結合するとゲル化したり、除菌効果が低下することがありますので、循環水の残留塩素濃度は0.4mg/l以下となるように確認の上、ご利用ください。
- ・本製品のみでの使用で、公衆浴場法等に規定されている要件を満たすものではありません。別途、関係法令を遵守されるようお願いいたします。

製造元：東京都墨田区東向島2-40-3  
株式会社島田商店 環境事業部  
TEL 03(3613)1328(代)

販売元：千葉県千葉市緑区誉田町3-78  
大金興業株式会社 レジオネラ対策室  
TEL 043(291)0161(代)